



## 増える鳥獣被害

### 3/9 鳥獣被害対策講演会

豊後大野市鳥獣被害対策協議会主催の鳥獣被害対策講演会がエイトピアおおので開催され、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構鳥獣被害研究チームの江口祐輔氏より「野生鳥獣の行動及び被害防除について」と題し講演が行われました。

野生動物の防護対策については、私たちが良いと思っていた対策が逆に誘引するものであったと知りました。

動物本来の生態を知ることで、防護対策が見えてきます。

柵の設置や点検などの対策も集落ぐるみで対応し、鳥獣の嫌がる環境をつくり、適切な駆除をしなければ被害を防ぐことはできないとお話がありました。



## 人権意識高揚のため

### 2/5 議会人権同和研修会

市議会主催の人権同和研修会が豊後大野市中央公民館で実施され、(社)大分県人権教育研究協議会名誉会員、吉野純一氏より「人権と同和の最新事情～51%で…まあ…いいか～」と題し講演が行われました。

差別には、「部落差別」「高齢者差別」「いじめによる差別」など多数存在し、それらは「つくられたもの」「成り行きによるもの」など、いくつかの項目によって分類されるとのお話がありました。



## 市の行政区再編について

～平成26年度まで推進期間を延長～

**質**

地域によって進捗状況に差があるが。



さとうのりよし  
佐藤徳宣

**答**

市長

「町によっては再編する区としない区が混在しており、統一的に取り組めない。」「集落規模の大きい区は、わざわざ小さい区と再編する必要がない。」「対象地区同士の事業活動に大きな相違がある。」などにより、再編が進まないという状況があります。

これからの地域の将来やあり方を協議していただき、行財政改革の一環という側面から、市民のご理解をいただきながら推進していきたい。

## 農業用水で小水力発電開発を

「水力は再生可能なエネルギー」

**質**

地域温暖化対策では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減が急務となっているが、化石燃料に代わるエネルギー源として小水力発電が考えられるが、市としての考えを問う。

**答**

産業経済部長

自前の電力供給による農業水利施設の維持管理費の削減のみならず、波及効果として地域活性化やクリーンエネルギー利用による農村地域のイメージアップなども期待でき、社会的意義も大きいと考えています。

市として農業水利施設を活用した小水力発電の推進に努めたい。

**質**

小水力発電所建設に関する助成制度は。

**答**

産業経済部長

農業農村整備事業による助成事業は、「導入技術支援事業」、「地域水環境整備事業」、「低コスト発電設備実証事業」が制度化されています。



九州で初のモデル地区（竹田市）

## 公平公正な予算編成を

～優先度をつけながら編成～

**質**

地域に振り分ける予算編成の査定などについて、市民に公表は。

**答**

総務部長

事業などの予算編成は、個々の事業ごとに効果や必要性、緊急性や将来性を考慮し、総合計画や行政改革との整合性を図りながら、優先度を決定し、総体予算の範囲内で編成作業を実施しています。